

令和6年度 静岡市在宅医療・介護連携協議会

第1回 啓発研修部会・地域支援部会の合同会議

次 第

日 時 令和6年7月4日（木）19：15～20：15（予定）
場 所 オンライン

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

（1）協議事項

ACP（人生会議）の普及啓発について（案） （資料1）

4 閉 会

<配付物>

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1 ACP（人生会議）の普及啓発について（案）

令和6年度 静岡市在宅医療・介護連携協議会

啓発研修部会 委員名簿

(氏名50音順)

	所 属	氏 名 (敬称略)
委員	一般社団法人 静岡市ケアマネット協会	近藤 久美子
委員	静岡市訪問看護ステーション連絡会	坪井 早苗
委員 (臨時)	一般社団法人 静岡市静岡医師会	平野 周太
委員	一般社団法人 静岡県医療ソーシャルワーカー協会	矢野 裕基
部会長	一般社団法人 静岡市清水医師会	吉永 治彦

地域支援部会 委員名簿

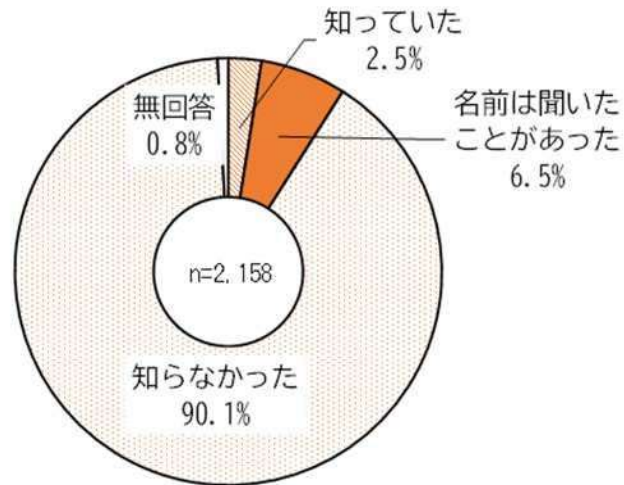
(氏名50音順)

	所 属	氏 名 (敬称略)
委員	市民委員	石上 喜久乃
部会長	静岡市駿河区長田地域包括支援センター	小作 徳光
委員	市民委員	小長井 隆志
委員	一般社団法人 静岡市ケアマネット協会	近藤 久美子
委員 (臨時)	JA静岡厚生連 清水厚生病院	成島 道樹

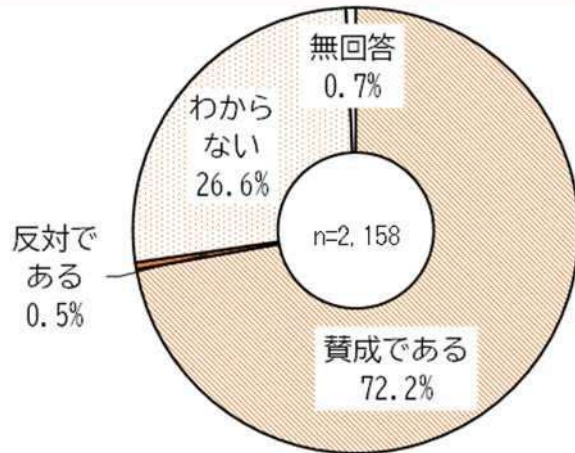
ACP（人生会議）の普及啓発について（案）

資料 1

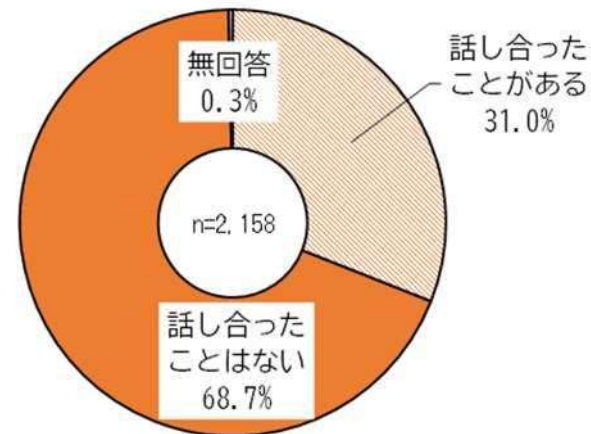
1. ACP（人生会議）について知っているか



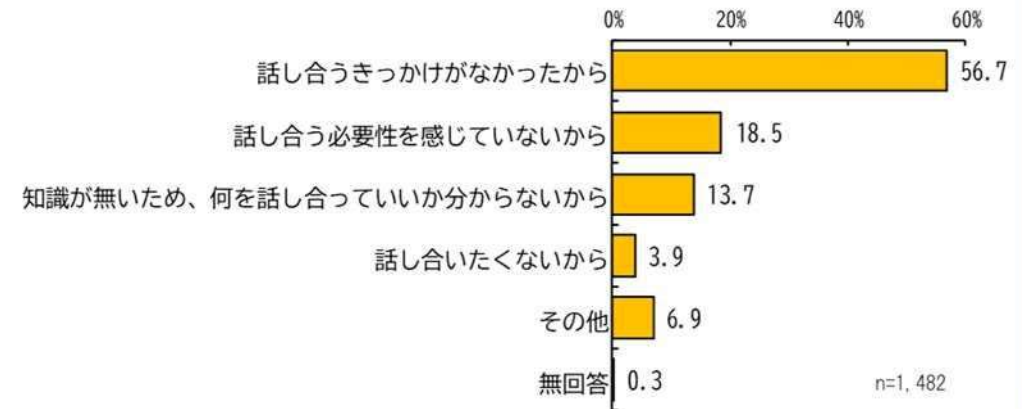
2. 自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、あらかじめ話し合いを進めることをどう思うか



3. 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合ったことはあるか



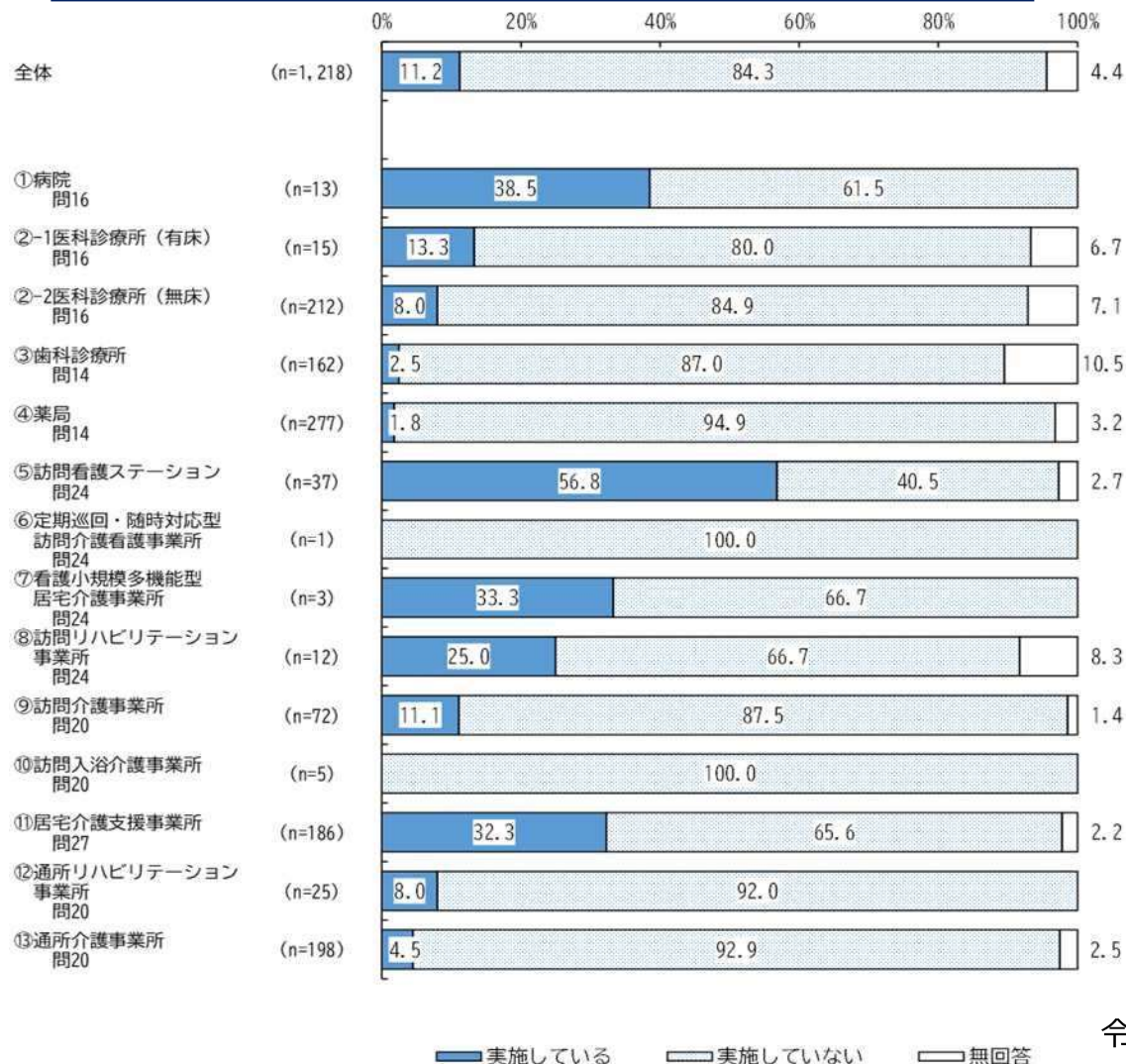
4. 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合ったことがない理由



人生会議（ACP）に関する市民意識調査、令和4年3月、静岡市

ACP（人生会議）の普及啓発について（案）

1. ACP（人生会議）を実施しているか



2. ACP（人生会議）を実施していない理由

（複数回答）
（全1,027件）

- ①「話し合いのためのノウハウがない」 467件
- ②「対象となる患者がいない」 339件
- ③「話し合う余裕がない」 256件
- ④「話し合うきっかけがなかった」 238件

3. ACP（人生会議）の推進に必要なと思われるもの

（複数回答）
（全1,218件）

- ①「ACPを実施するためのツール（パンフレット等）」 580件
- ②「行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加」 549件
- ③「時間的余裕や人員の配置等の体制整備」 545件
- ④「貴機関内での研修や勉強会の実施」 512件

令和4年度在宅医療の提供と連携に関する実態調査、令和4年11月、静岡市

ACP（人生会議）の普及啓発について（案）

地域包括支援センターが把握するACP(人生会議)の普及啓発に係る地域の取組及び意見について

1. インディングノートやACP（人生会議）の取組について

①インディングノートに関する問合せ状況

- ・来所が増え、ACPや終活への意欲が高まっていると感じる。住民、ケアマネジャー、民生委員から問合せの都度、インディングノートを配布し、質問にも対応している。記載するだけでなく、家族等に伝えることも大事である旨伝えている。

②インディングノートやACPに関する講座等

- ・民生委員から、インディングノートを記載する際の心構えや記載方法についての問合せや説明について依頼があり、もしばなカードを用いてACPやインディングノートについて共有予定
- ・地域ケア会議で、「もしばなカード」を用いたグループワーク（R4）、開業医と訪問看護師の看取りの体験の共有（R5）を行った。R6にインディングノートについての話し合いを開催予定
- ・地域包括支援センター主催事業で、インディングノートやACPに関するシリーズ講座を開催予定

③インディングノート活用事例

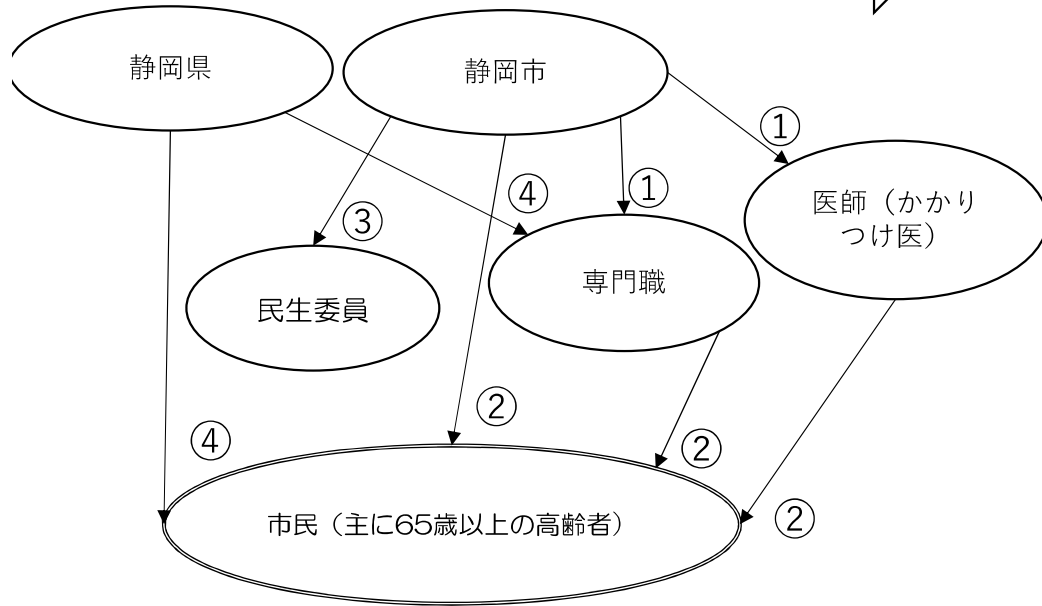
- ・S型デイサービスにて、毎回、利用者がインディングノートを少しずつ作成している
- ・特別養護老人ホームにて、本人や家族に話をするためのツールとして使用している
- ・単身療養中の本人の気持ちを聞き出したいが口頭では難しいとの相談事例
- ・8050世帯で、子に持病が多く、入院や死去で親が一人で困らないようにするにはどうしたら良いかの相談事例
- ・疎遠になっている家族への思いをインディングノートに綴り、それが契機となり関係修復に至った事例

2. 意見

- ①病院の待合室など、高齢者本人と家族等と一緒に居る時に自然に手に取りやすい場所にインディングノートもしくはそのチラシ等が配架されているときかけにしやすいので、配架場所について検討してほしい。
- ②インディングノートの活用やACPについて講師派遣をしてほしい。
- ③インディングノートは高齢になってから作成するのは大変であるし、作ったら終わりではなく、何度も見直し、その都度自分身と向き合う作業が大事であることを周知するために、インディングノートという名称を人生設計ノートなどに変更すると良いのではないかと。
インディングノートというと死をイメージしやすいため、人生を豊かにできる心惹かれる文言になるといい。
- ④民生委員から、高齢者実態調査の際に配りたいという意見があった。
- ⑤メディア等を活用し、継続的にインディングノートの周知を実施すると良いのではないかと。

ACP（人生会議）の普及啓発について（案）

第一段階～知る～



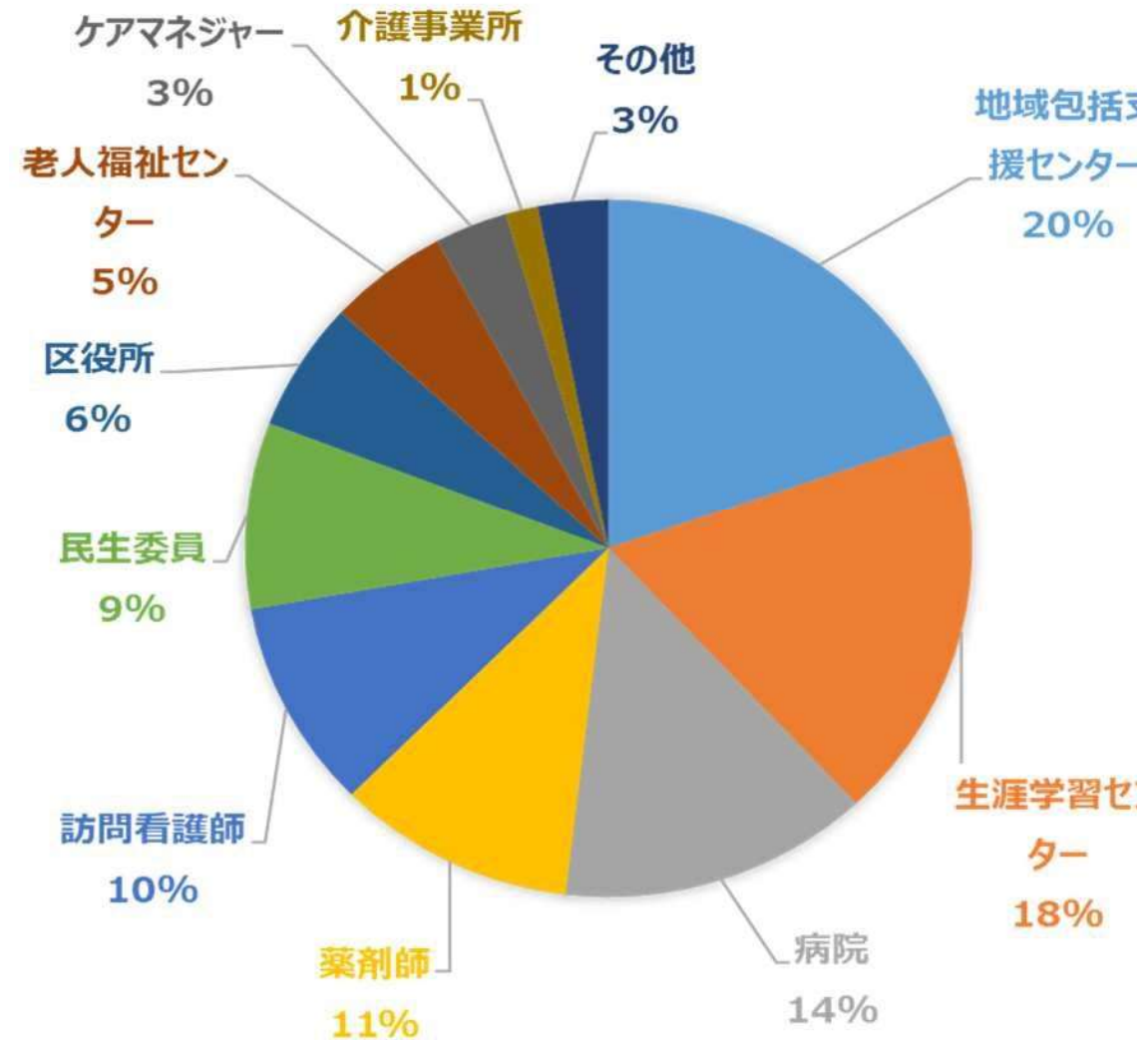
●静岡市の取組

- ①医師会員や各団体の専門職へエンディングノートを配布し、ACPの取組について意識づけを図る
- ②報道等によるエンディングノートの紹介、医師・専門職からエンディングノートを手渡されることを通して、市民がACPについて知る機会を提供する
- ③民生委員へエンディングノートを配布し、ACPについて知る機会を提供する

●静岡県の取組

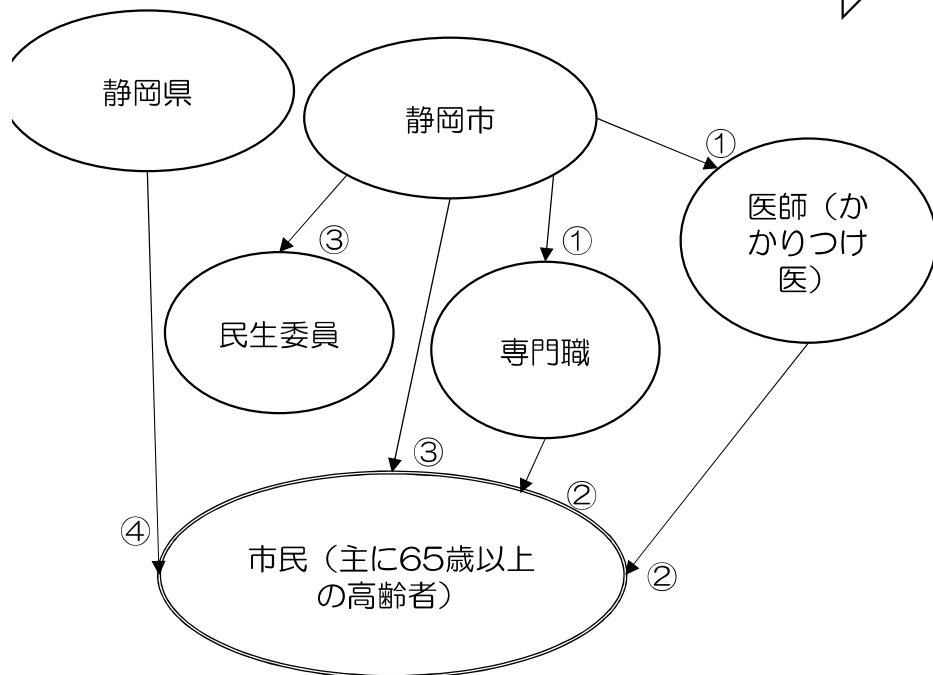
- ④ACPに関する講演会を行い、市町のエンディングノートについて紹介し、市民がACPについて知る機会を提供する

エンディングノートの配布状況



ACP（人生会議）の普及啓発について（案）

第二段階～やってみる～



●静岡市の取組

- ①医師や専門職が研修等により、エンディングノートを通じたACPの取組やノウハウを共有する
- ②市民が、医師や専門職と共にACPの取組を進める
- ③市民や民生委員へACPの取組を促す講座等を行う

●静岡県の取組

- ④エンディングノートを通じたACPの実践についてセミナーを行い、市民のACPの取組をより推進する

①専門職向け研修

【葵区・駿河区の専門職向け】

※医療・介護・福祉スーパーバイザー人材配置事業及び在宅医等養成研修事業を含む

- ・内容：ACP、エンディングノート実践事例の共有
- ・時期：令和6年10月26日（土）14:00～16:30
- ・場所：グランシップ交流ホール

【清水区の専門職向け】

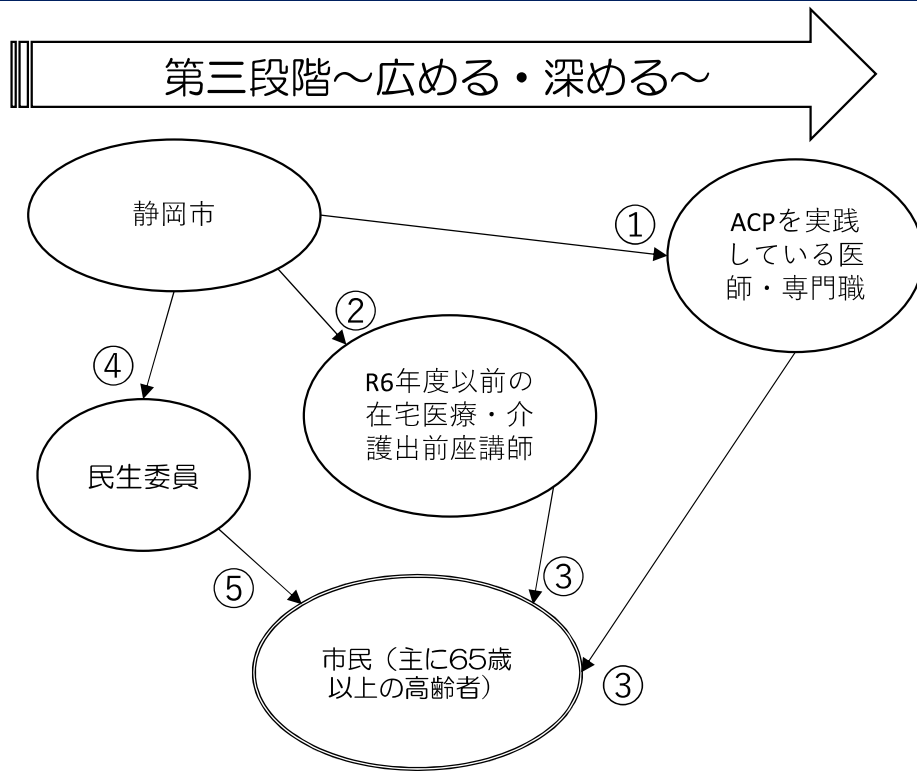
※在宅医等養成研修事業を含む

- ・内容：エンディングノートの活用やACPについて
- ・時期：令和6年9月10日（火）19:00～20:30
- ・場所：カーニープレイス清水
- ・備考：専門職は来場もしくはオンライン参加

③市民向け公開講座

- ・内容：令和6年9月10日（火）に実施する研修動画の配信
- ・時期：令和6年10月28日（月）以降（予定）

ACP（人生会議）の普及啓発について（案）



- ① ACPを実践している医師や専門職に在宅医療・介護出前講座（以下、講座）の講師を依頼
- ② R6年度以前の講座講師へACP実践事例等のノウハウを共有
- ③ 講座を通して市民へACPの普及啓発を実施する
- ④ 民生委員へACPの好事例を紹介する
- ⑤ 民生委員から市民（特に独居高齢者等）へ、必要に応じて、ACPの取組を紹介してもらう

①～③在宅医療・介護出前講座の変更点

【R6年度以前】

- ・ 講師：平成28年度～令和元年度の「自宅ずっと」ミーティングに3回以上出席した者で、講師の意向がある者。
- ・ 講座内容に係る事前説明会：任意

【R7年度以降】

- ・ 講師：平成28年度～令和元年度の「自宅ずっと」ミーティングに3回以上出席した者、もしくは、ACPを実践している医師や専門職で、講師の意向があり、講座内容に係る事前説明会に参加した者

④、⑤民生委員から市民へACPの紹介

- ・ 内容：市から民生委員へACPの好事例について紹介することを通して、民生委員が独居高齢者等から相談を受けた際や必要性に応じて、ACPの取組を勧めていただく。

平成28年度～令和 5 年度の医療・介護専門職のための研修会実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 4 年度		令和 5 年度
日 時	平成28年12月11日 (日) 13時30分～16時30分	平成30年 1 月21日 (日) 13時30分～16時30分	平成31年 1 月27 日(日) 13時30分～16時 30分	令和元年12月1日 (日) 14時00分～17時00 分	令和4年10月15日 (土) 14時00分～16時30分	令和 5 年1月21日 (土) 15時00分～16時30分	令和 6 年 1 月27日 (土) 15時00分～16時30分
場 所	グランシップ大ホー ル・海	グランシップ大ホール・ 海	もくせい会館 富 士ホール	グランシップ会議 ホール・風	カーニープレイス清水 6 階・ オンライン	本館 3 階第 1 委員会室	カーニープレイス清水 6 階・オンライン
参加者	市内に勤務する医療・ 介護専門職等 226人	市内に勤務する医療・介 護専門職等 106人	市内に勤務する医 療・介護専門職等 106人	市内に勤務する医 療・介護専門職等 111人	市内に勤務する医療・介護専 門職 40人 (一般 13人)	市内に勤務する医療・ 介護専門職 49人 (一般 23人)	市内に勤務する医療・ 介護専門職 6 人 (一般 27人)
テーマ	ご本人やご家族が『よ かった』と言える在宅 医療を目指して ～がん終末期患者を最 後まで支えるために～	認知症になっても住みよ い暮らしができるために、 医療・介護職は何ができ るか？	認知症とともに暮 らせる社会にむけ て	地域リハビリテー ションの意義と今後 の方向性について	対話を通して、「人生の終わ り方」について考える～<鍵 になる『問い』>「よい人 生の終わり方」とは、どのよ うなものだと思いますか？	もしものの時の「備え」 と「覚悟」備えあれど も憂いあり 憂いあり ども希望あり	幸せに最期を迎える為 の「備え」と「覚悟」
内 容	パネルディスカッショ ン 「がん終末期の患者を 看取ったご家族と地域 の医師の事例より」 パネリスト 啓発研修部会委員・が ん終末期患者のご家族 の方 グループディスカッ ション 「がん終末期患者の在 宅への移行から看取り までの支援」	講演 「認知症に、専門職はど う関わっていくのか？」 講師：山口晴保氏（認知 症介護研究・研修東京セ ンター長） 「大牟田市における地域 ぐるみの支えあい活動」 講師：梅崎優貴氏（大牟 田市認知症サポート研究 会） グループワーク 「認知症の気づきと、つ なぎ」	講演 「認知症とともに 暮らせる社会に向 けて」 講師：栗田主一氏 （東京都健康長寿 医療センター研究 部長） グループワーク 「多職種協働で 『自宅ですっと』 を支える」	講演 「地域リハビリテー ションの意義と今後 の方向性について」 講師：山内克哉氏 （浜松医科大学医学 部附属病院リハビリ テーション部長） グループワーク 「多職種協働による 地域リハビリテー ション」	講演 「対話を通して、「人生の終 わり方」について考える～< 鍵になる『問い』>「よい人 生の終わり方」とは、どのよ うなものだと思いますか？」 講師：竹之内裕文氏（国立大 学法人 静岡大学 未来社会デザ イン機構副機構長 農学部創造 科学大学院教授） グループワーク 「‘対話’によるグループワー ク」	講演 「もしものの時の「備 え」と「覚悟」備えあ れども憂いあり 憂い あれども希望あり 講師：平野周太氏（平 野医院院長）	講演 幸せに最期を迎える為 の「備え」と「覚悟」 講師：平野周太氏（平 野医院院長）

平成28年度～令和 5 年度の在宅医療市民公開講座実績							
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 4 年度		令和 5 年度
日 時	平成28年12月18日 (日) 13時30分～16時00分	平成29年12月16日(土) 13時30分～16時00分	平成30年 9 月29日 (土) 13時30分～16時00分	令和 2 年 2 月 1 日 (土) 13時30分～16時00分	令和4年10月15日 (土) 14時00分～16時30分	令和 5 年1月21日 (土) 15時00分～16時30分	令和 6 年 1 月27日 (土) 15時00分～16時30分
場 所	グランシップ会議 ホール 風	静岡商工会議所 静岡事務 所会館 5 階ホール	グランシップ 会議 ホール 風	ホテルセンチュリー静岡 5 階センチュリー ルーム	カーニープレイス清水 6 階・ オンライン	本館 3 階第 1 委員 会室	カーニープレイス 清水 6 階・オンラ イン
参加者	一般 200人	一般 122人	一般 132人	一般 205人	一般 13人 (市内に勤務する医療・介護 専門職 40人)	一般 23人 (市内に勤務する 医療・介護専門 職 49人)	一般 27人 (市内に勤務する 医療・介護専門職 6 人)
テーマ	「サヨナラ」の準備 ～安心して人生の最後を迎えるために～	あなたを必ず幸せにする“人生の幸福論” ～在宅ケアと看取りの視点から～	『自分らしく生きる』 を最後まで支える ～看取りを支える医師 たちからのメッセージ～	『自分らしい』人生の しまい方 ～映画＆トークセッション～	対話を通して、「人生の終わり方」について考える～＜鍵になる『問い』＞「よい人生の終わり方」とは、どのようなものだと思いますか？	もしものの時の「備え」と「覚悟」備えあれども憂いあり 憂いありども希望あり	幸せに最期を迎える為の「備え」と「覚悟」
内 容	講演 「自宅ですっと」プロジェクト 講師：田辺信宏（静岡市長） 講演 「サヨナラ」の準備 講師：中村伸一氏 （福井県おおい町国民健康保険名田庄診療所長）	講演 「あなたを必ず幸せにする“人生の幸福論”～在宅ケアと看取りの視点から～」 講師：中村伸一氏（福井県おおい町国民健康保険名田庄診療所長） 講演 「患者様は、取り扱い注意？～命を使い果たすための死生学～」 講師：白石好氏（静岡赤十字病院外科部長）	講演 「自分らしく生きて、 逝き抜くために」 講師：中村伸一氏（福井県おおい町国民健康保険名田庄診療所長） 講演 「『自分らしく生きる』ための地域づくり」 講師：成島道樹氏（JA静岡厚生連清水厚生病院外科診療部長）	上映会 映画「人生をしまう時間」 監督：下村幸子 トークセッション 「自分らしい人生の しまい方」 パネリスト：遠藤博之氏（たんぽぽ診療所院長）、杉山幸穂氏（静岡済生会訪問看護ステーションおしかサテライトみかど台）	講演 「対話を通して、「人生の終わり方」について考える～＜鍵になる『問い』＞「よい人生の終わり方」とは、どのようなものだと思いますか？」 講師：竹之内裕文氏（国立大学法人 静岡大学 未来社会デザイン機構副機構長 農学部創造科学大学院教授） グループワーク 「‘対話’によるグループワーク」	講演 「もしものの時の「備え」と「覚悟」備えあれども憂いあり 憂いあれども希望あり 講師：平野周太氏（平野医院院長）	講演 幸せに最期を迎える為の「備え」と「覚悟」 講師：平野周太氏（平野医院院長）